

Maison de Housetec

メゾン・ド・ハウステック

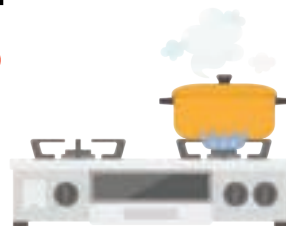
ハウステックのあるお家 February 2025



商品のトレンドや暮らしに役立つ情報をお届けします！

キッチンでの「着衣着火」を防ぐには？

空気が乾燥する冬は、火災の危険も高まる季節。調理中に衣服に火が燃え移る「着衣着火」はちょっとした不注意から誰にでも起こる可能性があります。今回は「着衣着火」を防ぐために、実践したい予防策をご紹介します。



「着衣着火」の原因

着衣着火は調理中に発生しやすく、調理台の奥のものを取ろうとしたときなどに袖口に火がつくケースが多いようです。厚みのある衣服の場合、火がついても熱さを感じにくいので、燃えていることに気づかず消火が遅れてしまうこともあります。

表面フラッシュ現象

わずかな炎が衣服につき、一瞬にして衣服の表面に燃え広がることを「表面フラッシュ現象」と言います。これは何度も洗濯を繰り返し、毛羽だった衣服で起こりやすいことがわかっています。特に冬は表面が毛羽だった素材の服を着る機会が多いため、注意が必要です。

知っておきたい「着衣着火」の予防策

コンロ周りは整理整頓！

ガスコンロの周りに布巾やペーパーなど燃えやすいものを置くのは事故のもと。常に整理整頓することが重要です。また、調味料をコンロの奥に置くと手を伸ばした際に衣服に火が燃え移ることがあるので、置き場所を変えましょう。



大きな鍋を使うときは注意！

大きな鍋やフライパンなどは火の接触面が大きく、炎が横に広がってきます。広く薄く伸びた炎は透明に近いため見えにくく、服などに燃え移りやすいので危険です。大きな鍋などを使うときは特に注意しましょう。



燃えやすい形や素材の服を着ない

火を取り扱うときには燃えやすい素材の服を着ないことが大切。綿やレーヨンのほか、ネルシャツなど表面が起毛した素材も燃えやすく危険です。また、調理中は袖口が広がった服やヒモのついた服など、着火しやすい形状の服を着ないように習慣化しましょう。



防災性アームカバーなどを着用

燃えにくい素材を使用したアームカバーやエプロンは、燃え広がることを防ぐ機能があります。着衣着火は袖口から起こることが多いので、袖をまくってから燃えにくい素材のアームカバーをして調理をするのがおすすめです。



もし「着衣着火」が起きてしまったら？

1 Stop (止まる)

動き回ると周囲に燃え広がってしまうため、まずはその場で立ち止まるようにします。

2 Drop (倒れる)

立っていると上に延焼し、頭部や気道に大やけどを負う恐れがあるため、燃えている部分を地面に押しつけます。

3 Roll (転がる)

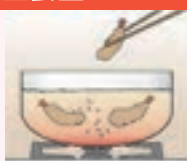
床に倒れたらまっすぐに寝て、左右に転がります。転がるときは顔を両手で覆い顔への火傷を防ぎます。

Si 全口センサー搭載

最近のガスコンロには、安全に配慮した機能が搭載されています。

調理油加熱防止装置

調理油が高温になりすぎるとセンサーが検知して自動消火。油の発火を防ぎます。



立ち消え安全装置

ふきこぼれや風などで火が消えてしまったら自動的にガスを止めます。



消し忘れ消火機能

消し忘れても、点火後一定時間が経過した時点で自動消火します。



2024.12.25 OPEN!!

ハウステックメタバースショールーム

業界初!*

コミュニティ機能をもつメタバース空間にハウステックのショールームがオープン!!

※住宅設備機器メーカーにおいて (2024年当社調べ)

Husetec × cluster



※ 画像は開発中のものも含みます。

メタバースショールームでできること



メタバース上で商品が見られる



ミニゲーム



カラーシミュレーション



アドバイザーに会えるかも!

アバターを通して実際のサイズ感を体験したり、商品のカラーコーディネートを楽しむことができます。ぜひご家族やお友達と一緒に遊びに来てください!

メタバース
ショールームロビーは
こちら!



限定アクセサリを無料でプレゼント!

2025年
3月末まで

期間
限定

クラスター内で
アバターに
装着できる!

※ 無料配布期間終了後は
アクセサリストアにて販売いたします。



機関紙「メゾン・ド・ハウステック」 企画:株式会社 ハウステック 販促企画部

お問い合わせ先